

THE SHOIN TIMES

“Literary club got an award” - Friday, February 28 2020

「カクヨム甲子園 2019」で奨励賞を受賞

プロの小説家のような表現力

文芸部の吉野葉月（3年雲組）さんが、「カクヨム甲子園 2019」【ロングストーリー部門】において、奨励賞を受賞しました。「カクヨム甲子園」は今年で3年目となる高校生限定コンテストで、ロングストーリー部門とショートストーリー部門があります。ロングストーリー部門では、8千文字以上2万文字以下の

作品となっており、大賞に1名、奨励賞に5名選ばれます。受賞作は『和風剣戟魔物退治奇譚 漆鳶と鴉の子』で、審査員の方から「プロの小説家がかいたような表現力と練られた文章に驚きました。時代背景の描写も素晴らしく、序盤から一気に読ませる力を持った作品でした。」とコメントをいただきました。



3年雲組 吉野葉月さん



全員に支えられた奨励賞

この度、奨励賞をいただきました。私の書いた拙作を構成してくださった顧問の田中徹一先生や1年生の頃から私を支えてくれた文芸部の部員、そして可愛い後輩たちのおかげです。残念ながら文芸部は新入部員募集停止となってしまいましたが、

今では10人にも及ぶ大所帯です。苦しいことや悩みは絶えませんでした。部長としての威厳を見せられたかは不安ではありません。最後の最後に、先輩らしい姿を、この奨励賞で少しでも見せることができたらと思います。

受賞作『漆鳶と鴉の子』

『漆鳶と鴉の子』は2万文字程度の和風ファンタジー小説です。親を亡くした幼い兄弟が恐ろしい魔物に襲われたところを片腕の剣士とその相棒らしき青年に助けられ、それをきっかけに町に潜む魔物を退治するという物語です。

王道的な少年漫画のような小説を意識しながらも夜に現れる不気味な魔物や昔の日本の持つ重々しい空気を書くように何度

も見直しました。1番難しかったのが字数制限内で物語を完結させるということで、書けなかったシーンなどもたくさんありました。それでも出せるだけの精一杯を注ぎ込んだ作品です。

嬉しいことに図書館の先生が製本して下さることになりました。拙い文章ですが、興味のある方はどうぞ一読ください。

吉野さんの作品『漆鳶と鴉の子』



学校法人 樟蔭学園

樟蔭中学校・高等学校